北海道白糠養護学校

学校だより

第３号　　令和４年１２月２３日発行
発行責任者　　校長　仲條　正輝

【お問い合わせ先】
北海道白糠養護学校　学芸部
〒０８８－０３５１　白糠町和天別１４７－２
TEL／FAX　　０１５４７－２－５３５３
代表メール　　hakuyou@hokkaido-c.ed.jp
HP　http://www.shiranuka-yougo.hokkaido-c.ed.jp/

２学期を終えて

教頭　大山　伸吾

今日、２学期の終業式の日を迎えました。

２学期の主な行事を振り返ってみます。

８月は、中学部がオンラインで肢養体（北海道肢体不自由養護学校体育大会）に参加し、持っている力を十分に発揮することができました。

９月は、中学部が札幌市への２泊３日の見学旅行がありました。JRタワーでは、展望台からの札幌の街並みや石狩平野の眺望を楽しみ、円山動物園での象やキリン等の動物に出会うことができました。

１０月は、本校最後の学習発表会がありました。来場していただく方を制限しての実施となりましたが、これまで学んだことを発表の中に盛り込み、精一杯表現することができました。

そのほかにも、町内公共施設や商業施設への校外学習や各学校との交流及び共同学習、将来の進路選択に繋がる高等部の社会体験学習などがありました。

現在も新型コロナウイルス感染症の第８波と呼ばれる流行の状況となり、同時にインフルエンザの流行も危惧されています。そのような中でも、大きな影響を受けることなく本校の教育活動を行うことができているのは、保護者・学園職員の皆様の御理解と御協力によるところが大きいと感じております。今後も、このような状況が続くと思われますが、これまで同様、基本的な感染対策を引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

３学期の始業式は、１月１８日（水）です。

本校閉校まで、残り３ヶ月余りとなりました。最後まで、本校の良さを生かした学校を目指して、教職員一同取り組んで参ります。保護者・学園職員の皆様には、本年も多くのご理解・ご協力いただきまして、ありがとうございました。来年も引き続きよろしくお願いいたします。体調には十分注意して、有意義な冬休みをお過ごしください。

体育大会（8/30）

学習発表会（10/29）

学習発表会
ご声援ありがとうございました

10月29日（土）に学習発表会を開催しました。

中学部の演目は「自分達で祭をつくる」をテーマに日頃の国語、数学、音楽の学習でがんばっていることを中心に、道具の準備、個数の確認、案内の電話や案内状の作成、祭開催の除幕式、御神輿のパレード、リボンを使った演舞や手話と歌を披露しました。

高等部の演目は「ユーチューバーになろう」をテーマに英語や音楽の学習でがんばっていることを中心に、「英語であそぼう」や「スーパー英語」、「うたってみた」「生まれた年のできごと」などの動画を配信形式で披露しました。

中学部の演目では観客席のまわりの御神輿のパレード、高等部の演目では観客の皆さんにも出演していただいたり、チャンネル登録の表示のご協力をいただいたりなど観客の皆さんと一体になる演出もありました。

コロナウイルス感染症の拡大への対応から今年度も保護者、学園職員のみの観覧となりました。生徒の皆さんは緊張の中、温かな声援、拍手を受け堂々と日頃の学習の様子を発表することができました。ありがとうございました。

（学芸部：千葉　みちる）

～各学部の様子

中学部

作業学習では、縫工に取り組み、小物入れやランチョンマットなどを作りました。昨年度の校内販売会（製品交換会）での経験によって、自分が作った物が他の人の手に渡ることを強く実感できるようになり、丁寧に波縫いをする様子や、近くにいる教師に「何色がいい？」と生地の色を相談して、自分の好みとは違う配色も取り入れようとする様子が見られました。また、ミシンにも挑戦し、縫う位置を慎重に確認しながら作業を進めていました。

今後の学習でも、使ってくれる人のことを想像しながら意欲的に製作に取り組んでもらいたいと思います。

（中学部：岩井　由貴子）

高等部

校外学習で、白糠町内にあるアイヌ文化活動施設「ウレシパチセ」に１１月１０日（木）高等部３人ででかけました。美術的意識を高めることやアイヌ文化について正しい知識を身につけることなどを目的に行いました。ウレシパチセでは、文化伝承されたアイヌ衣装や祭事の道具などの展示物を見たり、実際に手に取って触ったり、アイヌ衣装を着たりしました。また、事前にアイヌについて考えた質問をしたり、アイヌ料理「シト（お団子）」「オハウ（汁物）」を作る体験もしました。事前学習でジャガイモの皮むきを練習して行ったこともあり、三人とも上手に調理も行うことができ、おいしいアイヌ料理を堪能して帰ってきました。今は、美術でアイヌ文様（模様）などを参考に小物入れの制作をしています。

（高等部：犬養　幸恵）

卒業後の生活を想像しながら～進路指導について

本校では、高等部２、３年生を対象に、卒業後の生活において予測される課題を把握し、進路指導での目標立てや、卒業後の生活への移行支援を目的として社会体験学習（現場実習）を行っています。今年度は高等部３年生２名、高等部２年生１名が、実習を通して、卒業後の生活を体感・実習する目的で、日中活動に関わる就労継続支援Ｂ型事業所、生活介護事業所、主たる生活をするグループホームで 社会体験学習を行っています。内容や日数は、生徒の実態や希望に合わせて設定します。 高等部２年生の場合は、将来どんな生活が待っているのかを知り、自分なりに将来のためにどんな力をつけたらよいのかを考え、目標を立てたり、卒業後こんな生活パターンで生活したいなどの計画を立てたり等の学習を重ね、実際に実習を行いました。高等部３年生の社会体験学習では、卒業後に利用することを前提として行うことが多いため、日中の活動が実態に合っているかという他にも、食事やトイレ、入浴は利用できる状況か、その施設ごとに違う利用者さん間の関係性、雰囲気が生徒にとってなじめるのかなど、 様々な視点をふまえて選択することが必要です。これらは、見学だけでは分かりにくく、実際に体験する（生徒によっては複数日）ことで分かることが多くあります。「成人とは」「社会 とは」という概念がこの社会体験学習を通して形成され、それぞれの自己理解、自己実現につながればと考えています。 しかし、高等部の社会体験学習で、初めて社会と触れ合うわけではありません。小学部や中学部段階でも、様々な校外学習や宿泊学習などがあり、地域の方々や、公共交通機関、大型施設等に関わる人など自分を取り巻く多くの人と触れ合ってきています。日々の学習の積み重ね、校外活動で学校とは違う環境の中でその力を発揮できるかどうか試したり、新たなことを学んだりしながら社会で生活する基礎的な力を身につけてほしいと思います。

今後とも進路に関する指導に関わりご理解、ご協力をいただき、ますようよろしくお願い致します。

（相談支援部：池田 千春）

はくようギャラリーのご案内

各学部の美術や作業学習で制作した作品を中心に展示します

展示期間　〇令和５年１月１８日（水）～２月８日（水）１５時まで

（18 日 15 時より搬入、設置予定）（８日 15 時より撤去作業）

展示場所　〇白糠町社会福祉センターロビー

（住所：白糠町東３条南１丁目２－３２）（電話：01547－2－2287）